

三朝町生涯学習推進プラン 具体的施策別評価表

No	I	
具体的施策		生涯学習教室「三朝大学」の充実
概要		・ニーズに即した学びを提供。 ・幅広い世代が関心を持ち参加できる「特別講座」の開催。 ・本町の地域や歴史をテーマにした講座の開催。
関連する基本施策		1-① ライフステージに応じた学習機会の提供 4-① 地域の歴史や文化に関する学習機会の提供
関連事業Ⅰ	事業名等	生涯学習教室「三朝大学」（年間講座）
	事業説明	町民の生涯学習の場の提供、社会参加の啓発。
	開催数等	年間8回（5月～12月 月1回）
	参加数	1回目：34名、2回目：25名、3回目：22名、4回目：26名、5回目：27名、6回目：28名、7回目：23名、8回目：28名 計延べ213名（平均26名）
	成果	参加者のアンケートを基に、毎年講座の内容を変更していることから、一定数の参加者を保持している状況である。今年度は、グループワークにおいて「避難所運営」を学ぶなど、従前に無い企画も盛り込まれていた。
	課題	毎年講座内容を練り直し、時代に即したテーマを題材としていることから、一定数の参加者で推移しており、固定した内容とならないよう努めることが必要。
その他特記事項		

【社会教育課自己評価欄】

事務局評価	A
-------	---

【社会教育委員会評価欄】

最終評価	A
------	---

意見等	・開催が平日ということもあり、参加者が限定されるが、毎年講座内容を見直していることもあり、一定数の参加者を保持している。なお、臨時的に開催する特別講座の調整に時間を要しており、全体的な充実度としては停滞している。 ・令和7年度の三朝大学は、小学校での開催回や、相続をテーマにした回は大変良かったとの感想を聞いており、今後も継続していただきたい。
-----	---

三朝町生涯学習推進プラン 具体的施策別評価表

No	2	
具体的施策	子ども・若者を対象とした体験型学習機会の創出	
概要	・ 野外活動、地域文化等を体験し、技術や歴史を継承。 ・ 住民が主体となった学習機会の企画、運営を目指す。	
関連する基本施策	1－① ライフステージに応じた学習機会の提供 3－① 身近な人材、団体と連携した多様な生涯学習機会の創出 3－② 仲間づくりや世代間交流の推進 4－① 地域の歴史や文化に関する学習機会の提供	
関連事業1	事業名等	地域が育てる子ども総合対策事業
	事業説明	青少年の健全育成、家庭、地域の教育力向上を目的に、土曜日などに様々な体験活動を提供し、地域住民の協力や指導を得ながら、「やさしく たくましい 三朝の子ども」を育成。 【青空体験塾】
	開催数等	12回（月1回）
	参加数	（登録者数）25名
	成果	子どもたちの野外活動の機会が限られている昨今、保護者はもちろん、地域の大人と川遊び、植林などの活動を通して、三朝町の資源を学ぶなど、学校生活では得られない体験を提供している。
	課題	継続的な実施体制の確保が困難。
関連事業2	事業名等	三朝町・城陽市文化スポーツ交流事業
	事業説明	本町と姉妹都市盟約を締結する「京都府城陽市」との児童間交流を行うことによって、お互いのまちの歴史、自然及び文化等を知ること、同年齢の子ども同士でスポーツやレクリエーション、野外活動などの体験を共にすることで、広い視野を育て、子どもたちの健全育成を目指すもの。
	開催数等	年1回
	参加数	子ども40名（それぞれ20名ずつ）
	成果	今年度は三朝町にて受入（2泊3日）。 実施時期が夏休み期間中であり、従来から暑さ対策が課題となっていた。その中で、宿泊場所を旅館及び旧小学校を活用し、熱中症対策を行うと共に三朝町らしさを提供できた。
	課題	・ 生徒がより主体的に動ける仕組み作りが必要。（事前準備から後片付け） ・ 中学生ボランティア（交流事業のOB・OGなど）の活用。

関連事業 3	事業名等	みささ町かがやく子どもフェスティバル開催事業
	事業説明	町内各種団体によるブース出展により、子どもたちに様々な体験を提供する行事の実施（ステージイベント、お仕事体験ブースなど）。
	開催数等	年1回
	参加数	約400名
	成果	インフルエンザの流行もあり、中学生の参加が少なかったが、午前中にかけて仕事の体験ブースが盛況であり、普段の生活ではできない体験を提供することができた。
	課題	出展内容のローテーションなど、固定化しない工夫が必要であるほか、鳥取短期大学に続き、高校生の参画を図り、幅広い世代が交流する事業を目指している。
その他 特記事項		

【社会教育課自己評価欄】

事務局評価	A
-------	---

【社会教育委員会評価欄】

最終評価	A
------	---

意見等	・学校生活とは異なった体験活動の提供ができており、その内容も多種多様である。参加者のニーズに任せるだけでなく、各事業者からの提案による内容も盛り込まれ、上記事業自体は定例化してきているものの、一定の参加者を維持するよう工夫がなされている。 ・小学生と大人と一緒に体験する機会は重要である。 ・城陽市との交流にあたって、事前にプレゼンが行われ、参加者もイメージが掴みやすい。
-----	--

三朝町生涯学習推進プラン 具体的施策別評価表

No	6	
具体的施策		住民提案型講座の制度化
概要		・町民自ら学びのテーマを提案し、一定の賛同者が集まれば講座を開設できる仕組みや講座の運営をサポートする体制を構築。 ・企画の立案や運営の手法を学べる講座や、企画コンテスト等の啓発事業を開催。
関連する基本施策		1－② 町民自らが学習機会を創出できる仕組みの構築 3－① 身近な人材、団体と連携した多様な生涯学習機会の創出 3－② 仲間づくりや世代間交流の推進 3－③ 地域で生涯学習を牽引する人材の育成
関連事業Ⅰ	事業名等	
	事業説明	
	開催数等	
	参加数	
	成果	
	課題	
その他特記事項		未着手（事業実績なし）

【社会教育課自己評価欄】

事務局評価	C
-------	---

【社会教育委員会評価欄】

最終評価	C
------	---

意見等	・生涯学習教室「三朝大学」の例に倣い、幅広い世代が興味を持つテーマを募集するなどの事業スタートに向けた足がかりが必要。 ・三朝大学の例に倣って、事業を進めてはどうか。
-----	--

三朝町生涯学習推進プラン 具体的施策別評価表

No	9	
具体的施策		既存施設、設備の活用促進
概要		・団体や個人が学びの場として活用できる既存の町有施設等を可視化し、住民のニーズに合わせた講座やイベントをつなぐ。 ・教育委員会が管理する各種用具貸出事業の充実及び手続等の簡素化を図る。
関連する基本施策		1－② 町民自らが学習機会を創出できる仕組みの構築 2－① スポーツと芸術・文化活動を“気楽に”体験できる機会の創出
関連事業Ⅰ	事業名等	
	事業説明	
	開催数等	
	参加数	
	成果	
	課題	
その他特記事項		予算上該当する事業がないものの、社会教育課が所管する備品貸出簿を備えており、随時貸出対応を行っている。

【社会教育課自己評価欄】

事務局評価	B
-------	---

【社会教育委員会評価欄】

最終評価	B
------	---

意見等	・次項に記載する一部公共施設の予約管理システム導入にも関連して、既存の町有施設の可視化を推進していく。
-----	---

三朝町生涯学習推進プラン 具体的施策別評価表

No	10	
具体的施策	スポーツ、芸術・文化活動情報の一元化	
概要	・行事カレンダーのような、各種団体の活動情報を一元的に発信、確認できる仕組みを目指す。	
関連する基本施策	2－① スポーツと芸術・文化活動を“気楽に”体験できる機会の創出 2－② 町民が主体的に活動するスポーツと芸術・文化団体、グループの支援 3－② 仲間づくりや世代間交流の推進	
関連事業Ⅰ	事業名等	
	事業説明	
	開催数等	
	参加数	
	成果	
	課題	
その他特記事項	・社会教育課実施事業については町ホームページや防災行政無線、広報みささでの掲載など、広報に努めている。 （町ホームページ新着情報は町公式SNS等でも自動発信） ・行事カレンダーのような情報の一元化は未着手	

【社会教育課自己評価欄】

事務局評価	B
-------	---

【社会教育委員会評価欄】

最終評価	B
------	---

意見等	令和7年度に社会体育施設をはじめとした、予約管理システムの導入を進めており、令和8年度からシステム上で施設の予約状況が確認可能となり、情報の一元化に向けて一歩踏み出したところである。
-----	---

三朝町生涯学習推進プラン 具体的施策別評価表

No	15	
具体的施策	“地域の学び舎プロジェクト（仮称）”の展開	
概要	・地域協議会と連携した生涯学習機会の創出を図る。 ・地域ごとに適した学びのテーマや重点分野を決定し、地域協議会は学びの場を創出、教育委員会はこの事業に対して支援。	
関連する基本施策	1－② 町民自らが学習機会を創出できる仕組みの構築 3－① 身近な人材、団体と連携した多様な生涯学習機会の創出 3－② 仲間づくりや世代間交流の推進 3－③ 地域で生涯学習を牽引する人材の育成	
関連事業Ⅰ	事業名等	
	事業説明	
	開催数等	
	参加数	
	成果	
	課題	
その他特記事項	未着手（事業実績なし）	

【社会教育課自己評価欄】

事務局評価	C
-------	---

【社会教育委員会評価欄】

最終評価	C
------	---

意見等	・地域協議会と意見交換する場を設けるなど、ニーズ把握から開始する必要がある。 ・学びのテーマについては、個人への投げかけよりも、地域協議会の方が反応は早いと思われる。 ・他の市町村の取組事例を参考にしてはどうか。
-----	--

三朝町生涯学習推進プラン 具体的施策別評価表

No	20	
具体的施策		歴史・文化講座の開催
概要		・三徳山や三朝温泉の歴史、地元の伝統行事や風習をテーマとした講座を実施。 (例) 日本遺産の価値、有形・無形文化財の歴史、地域にまつわる祭りや風習の由来 ・地域に伝わる工芸品づくりや伝統的な料理体験、祭りの準備及び参加を通じた学びの場を提供。
関連する基本施策		3-① 身近な人材、団体と連携した多様な生涯学習機会の創出 3-② 仲間づくりや世代間交流の推進 4-① 地域の歴史や文化に関する学習機会の提供
関連事業 1	事業名等	文化振興事業
	事業説明	芸能文化祭及び町民作品展をはじめとした、文化・芸術への関心を深める事業の実施。
	開催数等	年1回(芸能文化祭・町民作品展)
	参加数	延べ150名
	成果	芸能文化祭において、今年度も高校生グループが参加するなど、若い世代の参加が近年見られるようになり、多世代交流が図られてきている。
	課題	・広い世代の参加に繋がるよう、多種多様なジャンルの受入を検討。 ・継続的な運営に向けて、外部委託も含めた検討が必要。
関連事業 2	事業名等	文化遺産等調査研究経費
	事業説明	三徳山等の町内文化遺産の価値を高めるための調査研究活動を実施。 (日本遺産の普及啓発活動(調査結果の発表等))
	開催数等	1回
	参加数	—
	成果	神倉遺跡発掘の成果、及び三徳山に関連する調査結果の報告の場を設ける予定 (令和8年3月14日 三徳学講座)
	課題	文化財全般において、子ども達への周知(紹介)が不足している。
その他特記事項		

【社会教育課自己評価欄】

事務局評価	B
-------	---

【社会教育委員会評価欄】

最終評価	B
------	---

意見等	・「歴史・文化」というテーマから、敷居が高いイメージが定着し、特に若い世代の参加が少ないことが課題としてあげられる。一方で、定例的に開催されるイベントにて、文化交流・啓発が図られていることも事実である。 ・講座等においては、何人集まったかという数が、評価のポイントとなる。 ・三徳学講座は、内容が非常に良かった。
-----	--